

令和3年度 第1回向日市社会教育委員の会議	
日 時	令和3年5月27日(木) 午前10時～同11時30分
場 所	向日市役所別館 第10会議室
出席委員	永井委員、高畑委員、植田委員、中本委員、梅田委員、河村委員、清水委員、安田委員、横田委員、實川委員
欠席委員	吉岡委員、永田委員
事 務 局	永野教育長、清水部長、玉城副部長兼文化資料館長、日下部生涯学習課長、芦田図書館長、渡辺文化財調査事務所長、大和天文館長、小田中央公民館長
内 容	1 役員の選出について 2 令和3年度社会教育関係事業計画について 3 令和3年度社会教育委員関係の事業予定について
委員	<p>【開会】</p> <p>○教育長あいさつ</p> <p>○委員長あいさつ</p> <p>○委員長代理あいさつ</p> <p>○委員、異動職員紹介</p> <p>○議題1 役員の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向日市社会教育委員の会について 永井委員長、高畑委員長代理を選出し承認した。 ・乙訓社会教育委員等連絡協議会の役員(副会長:1名、理事:2名、監事:1名)について 副会長として永井委員長、理事として高畑委員長代理、植田委員、監事として中本委員を選出し承認した。 <p>○議題2 令和3年度社会教育関係事業計画について</p> <p>—生涯学習課、中央公民館、図書館、文化資料館、天文館、文化財調査事務所事業について説明—</p> <p>【生涯学習課事業について】</p> <p>地域学校協働活動推進事業は、全ての小中学校に展開している事業なのか。また、コロナ禍の中、なかなか活動そのものについては、厳しいと思うがどうか。</p>

生涯学習課長	全ての学校に展開しており、ご指摘のとおり、活動自体厳しいが、できることから取り組んでいく。
委員	地域学校協働活動推進事業の内容が、今までより核心をついており、納得できる内容になった。学校の先生方やこの事業に携わっておられる地域の方々に、この内容を踏まえて事業計画されているということが伝わっていないのではないかと思いますので、明確に、わかりやすく伝えられるようお願いしたい。
委員	「スポーツを通じたまちづくりに関するフレンドシップ協定」はどのような活動をされているのか、教えていただきたい。
教育部長	ハンナリーズやサンガと協定を結んでおり、特にサンガとは体操教室や子どもたち向けのサッカー教室を開催するなど、技術を学べるような事業を行っている。
委員	キッズスポーツチャレンジの講師・指導者が未定となっているが、具体的にどのような資格のある方が講師になるのか教えていただきたい。
教育部長	スポーツ文化協会から、詳細は決まっていないと聞いている。 先ほどのご質問の補足だが、令和2年度にスポーツ推進計画を策定し、スポーツ文化協会と取り組みについて、しっかりと連携し、スポーツを推進していきたいと思っている。
委員	キッズスポーツチャレンジの講師が決まっていないのはわかったが、内容が決まっているので、どのような方なのかわからないのか。
教育部長	先ほども申し上げたように、詳細については決まっておらず、そういった内容ができるような講師に依頼することになる。
委員	第1回の人権研修会について、昨年度の第1回と同じ講師を選ばれた理由は何か。 また、ジュニア・リーダー養成講座について、向日市の教育の重点目標に挙げられているものが、秋開催であるのに、早々と中止としたのはなぜか。最終的に中止となるのはわかるが、この時点で決定された理由はいかがか。
生涯学習課長	まず、人権研修について、前回の講座が非常に好評であったので、好評であるならば、その方がいいのではと判断した。 次に、ジュニア・リーダー養成講座について、事業の性質上、大学生と子どもたちの密を回避できない活動であり、新型コロナウイルスの変異株の話もあり、秋まで収束していない可能性もあるので、中止とした。大学生と子どもたちの活動自体、感染の危険があると判断している。
委員	いくら好評であっても、PTA連絡協議会と共催であるので、同じ内容を聞いたと言う方も出てくると思う。安易ではなかったか。 ジュニア・リーダーについても、感染症の懸念は充分把握している。ただ、これ

	<p>から先、9月でなくてもいいと思う。年度初めに中止としたら、向日市の教育はどうなっているのか、となる。感染症対策の状況を見ながら決めていくべきで、結果として中止は納得できる。</p>
生涯学習課長	<p>人権研修の講師についてであるが、内容を変えて話していただくことも検討する。</p>
委員	<p>講師の先生が内容を変えようと言われるのではなく、依頼する側が、今年はこのような分野で講演を依頼したいというべきだと思う。</p> <p>また、講師は今年2回来られるとのことで、依頼の仕方が安易だと感じる。</p>
教育長	<p>人権研修会の講師の人選は、事務局としても難しいところである。来られた方が勉強になったと思える研修会にするため、複数の候補を挙げて検討した結果、昨年度と同じ講師になった。テーマについては、昨年度から変えて実施する。感染症対策により、例年より少ない定員としているので、広くいろいろな方に聞いていただきたいと思っている。</p> <p>ジュニア・リーダー養成講座の活動については、感染状況を見ている中で、非常に危険であると判断した。また、実施するとなると今から人選が必要で、期待だけ高まって実施できない状況になることが、一方で心配される。非常に難しい判断であるが、今の段階で着手することは困難であるため、中止とした。</p> <p>【図書館事業について】</p>
委員	<p>LINEによる図書館案内システムの実施とあるが、LINEは報道で、個人情報取り扱いについて議論されていた。このシステムの安全性を説明いただきたい。</p>
図書館長	<p>お互いの個人情報を提供するタイプのLINEとは違い、図書館で導入するLINEは、チャットボット型で、利用者から個人情報を提供いただく必要がなく、問い合わせがあった場合は自動応答で対応するもので、安全性は確認済みである。</p>
委員	<p>資料購入は、分類によって、購入割合が決められているのか。</p>
図書館長	<p>割合は厳密に決めていないが、結果的に、利用が多い分類が割合を占めている。児童書では絵本が、一般書では小説が、かなりの割合を占めている</p>
委員	<p>自習室の開設について、昨年はどれぐらいの利用があったのか。</p>
図書館長	<p>去年はコロナにより中止したが、2019年は7日間開催し、のべ41人の利用があった。毎年40人前後の利用があり、中学生から大人の方まで利用いただいている。</p>
委員	<p>一般の方から夜も開館してほしいという希望があると思うが、夜の開館は難しいか。</p>
図書館長	<p>夜間開館の実施は、児童の安全性の観点から実施は予定していない。平日、祝日関係なくいつも10時から18時まで開館とし、わかりやすくしている。</p>

委員	<p>【文化資料館事業について】</p> <p>紙関連国際シンポジウムの開催で、今想定されている海外の研究者たちはどんな国の紙に関わる人たちなのか。</p>
文化資料館長	<p>アメリカの女性研究者で、日本、中国、朝鮮半島の紙を研究した方、世界各地の手漉き紙を研究している方などにお話しいただく。寿岳先生が1930年代に集めた日本の各地の紙を、どう国際的な視点で評価していただくか、というのがシンポジウムの大きなねらいである。世界各地で和紙を研究している方にお話しいただくことにより、寿岳先生の和紙の世界的評価が定まるのではないかとということで実施しようとしている。</p>
委員	<p>日曜談話会の「平和・国際交流と向日庵」というテーマについて、平和と国際交流が寿岳先生とどのようにつながるのかご説明いただきたい。</p>
文化資料館長	<p>この事業も寿岳先生とのつながりがあるものとなっている。広島図書館にあるエドモンド・ブランデンの平和記念碑の訳を寿岳先生がされていることや、長崎の鐘の作者である永井隆博士とも交流があったことなどが資料にあり、向日庵の資料展示やシンポジウムの一環として、くらしの中の戦争展のテーマにもなると考えた。寿岳先生の戦時中の思いを書いた日記や、戦中から戦後にかけて寿岳先生の平和に対する取組、また、海外からやってきた方との交流を紹介する機会とし、展示の説明会を実施しようと思っている。</p>
委員	<p>【天文館事業について】</p> <p>5月の皆既月食の観望会の計画が当初からなかったようだが、コロナのことを見越して計画しなかったのか。また、熟睡プラ寝タリウム投影はどんな反応だったか。</p>
天文館長	<p>5月の皆既月食は、時間が早く、月見台の低い位置から始まるため、住宅地に望遠鏡を向けることができず、ほぼ見るできない。そのため、開催が困難と判断し、計画しなかった。11月19日の部分月食は部分となっているものの、ほぼ皆既月食であり、早くから暗くなるので見やすく、こちらの観望会に力を入れようと思っている。</p> <p>熟睡プラ寝タリウムは、毎年好評で、全国のプラネタリウムで一斉に同じ時期に同様の企画で実施している事業である。</p>
委員	<p>夏の天文教室の参加人数が6人となっているが、開催効果が少ないのではないかと6人とした根拠はあるのか。</p>
天文館長	<p>毎年12人を定員として開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として間隔を空けるため、会議室は6人、ロビーは10人、プラネタリウム室は25人を定員としている。天文教室の回数を増やすことも考えたが、より多くの方に来館いただくため、一般投影や団体投影を優先することとした。また、プラネタリウムの新番組を購入したため、費用面からも困難であると判断した。</p>

委員	<p>天文館が努力されているというのはよくわかる。訪れる度、呼び込みをされている。一般投影時、プラネタリウム室に入っている人数が少なく、もっと子どもが来てくれたらいいと思う。夏休み中の企画を充実させるなど、なんとか子どもが来られるよう、努力を積み重ねていてもらいたい。</p>
委員	<p>【文化財調査事務所事業について】 調査研究成果展が6月19日から7月25日まで開催されるが、市民考古学講座と同じような内容で実施されるのであれば、展示と講座を同時期にした方が効果的ではないか。時期がずれているのは何か理由があるのか。</p>
文化財調査事務所長	<p>ご指摘のとおり、同時開催が効果的である。展示の経過として、北側にある慶昌院の近辺で昨年開発に伴う発掘調査が3件ほど立て続けにあった。そのうち、2件で土器や瓦など長岡京より前の飛鳥時代のものが100箱以上発掘された。開催時期がずれた理由としては、展示会場を資料館から借りて行うため、この時期しか会場が空いていなかったためである。また、関連講座・講演会をする予定だったが、講座の職員の都合がつかなかったことも影響した。展示期間中について、大学の先生による特別講演会「古代寺院からみた国家と地域社会」を実施する。後半の取組として、市民考古学講座と市民考古学講座関連講演会を実施する。</p>
委員	<p>【全体について】 とても良い事業をたくさんしているので、市の広報や報道機関等にたくさん取り上げていただけるようお願いしたい。</p> <p>議題3 令和3年度社会教育関係事業の予定について －事業予定について説明－</p> <p>【閉 会】</p>